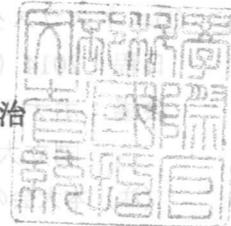


各都道府県教育委員会教育長
各指定都市教育委員会教育長
各都道府県知事
各指定都市市長
各国公立大学長

文部科学省国際統括官

加藤重治



(印影印刷)

「持続可能な開発のための教育（ESD）に関するユネスコ
世界会議」について（通知）

「国連持続可能な開発のための教育の10年(DES D)」の最終年に当たる平成26
(2014)年11月に愛知県・名古屋市と岡山市において、国際連合教育科学文化機
関(ユネスコ)と日本政府の共催により「持続可能な開発のための教育(ESD)に関
するユネスコ世界会議」(以下「ESDに関するユネスコ世界会議」という。)が開催さ
れます。今般、下記のとおり会議の詳細等が決定しましたのでお知らせします。

文部科学省では、「ESDに関するユネスコ世界会議」において、これまでの日本に
おける持続可能な開発のための教育(ESD)の取組の成果を世界に向け周知するとと
もに、ESDの更なる普及及びESDの推進拠点であるユネスコスクールの活動の充実
を図ることとしています。

つきましては、貴職におかれては、「ESDに関するユネスコ世界会議」の趣旨を十
分に御了知の上、域内の市町村教育委員会、所管又は所轄の学校その他の教育機関等
に対し御周知いただきますようお願いいたします。

1. 「ESDに関するユネスコ世界会議」開催日程及び会場

(1) 閣僚級会合及び全体の取りまとめ会合

日程：2014（平成26）年11月10日（月）から12日（水）まで

11月13日（木）フォローアップ会合

会場：名古屋国際会議場（愛知県名古屋市）

(2) ステークホルダーの主たる会合

①ユネスコスクール世界大会

日程：2014（平成26）年11月6日（木）から8日（土）まで

会場：ホテルグランヴィア岡山（岡山県岡山市）

国立大学法人岡山大学（岡山県岡山市）

（注）本大会の概要は別紙1を御参照ください。また、本年6月以降にユネスコスクールを対象として「Student（高校生）フォーラム」参加者を募集する予定としております。当フォーラムの趣旨を御理解の上、積極的に御応募いただきますようお願いいたします。

②ユース・コンファレンス

日程：2014（平成26）年11月7日（金）

会場：岡山国際交流センター（岡山県岡山市）

③持続可能な開発のための教育に関する拠点の会議

日程：2014（平成26）年11月4日（火）から7日（金）まで

会場：岡山コンベンションセンター（岡山県岡山市）

2. 「ESDに関するユネスコ世界会議」ロゴマークの使用について

「ESDに関するユネスコ世界会議」周知のため、ユネスコと日本政府はロゴマークを策定いたしました。ロゴの使用に当たっては、別紙2のガイドラインに沿って申請してください。

3. 「ESDスローガン」について

「ESDは自分に関係あるもの」という意識を啓発するため、「ESDスローガン」を策定しました。今後は、ポスターやリーフレット、各種資料など普及活動の場で積極的に使用することとしています。

ESDスローガン： 「あなたの毎日が、未来になる」

※趣旨 「自分たち一人一人が毎日身近なところから行動を起こすことが、持続可能な地球の未来につながる」

4. 「ESDに関するユネスコ世界会議」ウェブサイトについて

本年7月を目処に、ユネスコが「ESDに関するユネスコ世界会議」ウェブサイトを開設いたします(別紙3)。当ウェブサイトでは、「ESDに関するユネスコ世界会議」に関する最新情報が、日本語及び英語等で随時掲載される予定です。

(参考URL) ユネスコホームページ

www.unesco.org/education/desd

■添付資料

別紙1 : 「ユネスコスクール世界大会」について

別紙2 : 「ESDに関するユネスコ世界会議」ロゴマークの使用について

別紙3 : 「ESDに関するユネスコ世界会議」ウェブサイトについて

担 当 : 文部科学省国際統括官付 (日本ユネスコ国内委員会事務局)

ユネスコ第二係、ユネスコ振興推進係

電 話 : 03-5253-4111 (内線3402・2602)

所在地 : 東京都千代田区霞が関3-2-2

Mail : jpnatcom@mext.go.jp

ユネスコスクール公式ウェブサイト : <http://www.unesco-school.jp/>

ユネスコスクール世界大会 (案)

「国連持続可能な開発のための教育 (ESD) の 10 年」(2005~2014) の最終年である 2014 年 (平成 26 年) に岡山市において「ユネスコスクール世界大会」を開催し、各国のユネスコスクールにおいて行われてきた国連持続可能な開発のための教育 (ESD) の実践を共有し、共通の未来を創るために協働して取り組むことを目指し、その宣言を愛知県名古屋市中で開催される「国連持続可能な開発のための教育 (ESD) に関するユネスコ世界会議」において、発表するものである。

ユネスコスクール世界大会は、「ユネスコスクール全国大会」「Student (高校生) フォーラム」及び「教員フォーラム」の 3 つのフォーラムで構成される。

主催：ユネスコ、文部科学省、日本ユネスコ国内委員会

【Student (高校生) フォーラム】

- 日 程 2014 年 11 月 6 日 (木) ~7 日 (金)
- 会 場 岡山市
- 言 語 英語、フランス語、日本語 (同時通訳)
- 参加者 1 チーム 5 名 (教員 1 名、Student (高校生：15~18 歳) 4 名)
海外から 33 チーム 165 名 (教員 33 名、高校生 132 名)
日本から 9 チーム 45 名 (教員 9 名、高校生 36 名)
合 計 42 チーム 210 名 (教員 42 名、高校生 168 名)
選抜方法：日本国内は、ユネスコスクール (高校課程) を対象に交流会のホストとなることを条件に本年 6 月に公募し、8 月には北海道、東北、関東甲信越、中部、近畿、中国、四国・九州の 7 地域から各 1 チーム選抜する。これに加え、開催地の岡山と開催準備運営協力地域の大阪が参加する。
- 成 果
 - * 参加者 (高校生) が各国のユネスコスクールにおいて行われてきた国連持続可能な開発のための教育 (ESD) の実践を発表、共有する。
 - * 各国の課題を踏まえ、共通の未来を創るために協働して取り組むことを確認し、宣言文をまとめる。
 - * その宣言は、ユネスコスクール全国大会のメッセージに添付し、愛知県名古屋市中で開催される「国連持続可能な開発のための教育 (ESD) に関するユネスコ世界会議」において、発表する。

【教員フォーラム】

- 日 程 2014 年 11 月 7 日 (金)
- 場 所 岡山市
- 言 語 英語、フランス語、日本語 (同時通訳)
- 参加者 上記 Student (高校生) フォーラムに参加するチームの教員 42 名

【全国大会】

- 日 程 2014年11月8日(土)
- 場 所 岡山市
- 言 語 英語、フランス語、日本語(同時通訳)
- 参加者 日本のユネスコスクールの教員、都道府県・市区町村教育委員会
ユネスコスクール協力者(企業、NGO/NPO、PTA、大学生、専門家など)
国外ユネスコスクール(教員フォーラム参加教員等)
ユネスコスクール支援大学間ネットワーク(ASP Univnet)

2014 ユネスコスクール全国大会のイメージ

- 日程案
11月8日(土)
 - Student(高校生)フォーラムからの報告
 - 世界の good practice 発表、日本の good practice 発表
 - 分科会(例) ネットワーク、地域連携、国際理解教育、科学教育
 - 全体会 「愛知へのメッセージ」(国連持続可能な開発のための教育(ESD)に関するユネスコ世界会議へのインプット)
- 成果
「愛知へのメッセージ」のイメージ(Student(高校生)フォーラムの文書は添付文書)
 1. ESD 推進の上でのユネスコスクールの役割
 2. ネットワークとして、ESD 固有のものが提唱できるか
 3. 教育内容として今後重視すべきもの
 4. 高等教育機関、地域との連携

(別紙2)

【参考訳】

「持続可能な開発のための教育 (ESD) に関するユネスコ世界会議」のロゴ 使用のガイドライン (日本国内の全国・地方のパートナー(団体・企業等)用)

- 1) 「持続可能な開発のための教育(ESD)に関するユネスコ世界会議 (以下、「世界会議」という。)」のための公式な広報資料は、文部科学省と協議の上、ユネスコのみが発行する。
- 2) 「ユネスコ・国連 ESD の 10 年・日本ロゴ (The UNESCO-DESD-Japan logo)」は、世界会議の公式ロゴであり、公式な資料の書面の左上に掲載する。
公式ロゴは、ユネスコで使用される 6 言語 (英語、仏語、スペイン語、中国語、ロシア語、アラビア語) で用意され、下記のデザインである。



- 3) 他機関が発行する世界会議に関する資料は、ユネスコの公式な関係資料と区別できるようにする必要がある。
- 4) 閣僚級会合及び全体の取りまとめ会合 (愛知県・名古屋市、2014年11月10日~12日) 及びステークホルダーの主たる会合 (岡山市、2014年11月4日~8日) の開催都市は、広報目的のために、世界会議の公式ロゴを開催都市の固有のロゴと併せて使用することができる。開催都市が発行する資料は、ユネスコの公式な資料ではないことを明らかにする必要があるため、開催都市は、常に「Host City for」という文言を公式ロゴの上部又は隣に明記する。全国・地方のパートナー(団体・企業等)の公式ロゴ使用の申請は、日本ユネスコ国内委員会又は文部科学省によって支持され、またユネスコの承認を得なければならない。
- 5) 日本国政府又は開催都市の全国・地方のパートナー(団体・企業等)で、世界会議と協働し、公式ロゴの使用を希望する者は、下記のガイドラインに従うこととする。
 - a. 全国・地方のパートナー(団体・企業等)は、世界会議への役割を明確に説明でき、実施する事業が世界会議の目的に合致していること。
 - b. 全国・地方のパートナー(団体・企業等)が発行する資料は、ユネスコの公式な会議関係資料と類似しないこと。
 - c. 全国・地方のパートナー(団体・企業等)の公式ロゴ使用の申請は、日本ユネスコ国内委員会又は文部科学省によって支持され、ユネスコの承認を得なければならない。使用が承認されたロゴは「In support of」の文言を付けることとする。
- 6) 日本ユネスコ国内委員会は、申請や承認の状況を文書で整理する。
- 7) ユネスコが定める「ユネスコの名前及びロゴの使用に関するガイドライン」に従い、ユネスコのロゴの営利目的の利用については、ユネスコ事務局長の明確な許可が必要である。

Guidelines for the use of the logo of the UNESCO World Conference on ESD (2014, Japan) by local/national partners in Japan

Document for use by the Japanese National Commission

- 1) Official communication material for the UNESCO World Conference on ESD is exclusively issued by UNESCO in consultation with its co-organizer, the Ministry of Education, Culture, Sports, Science and Technology of Japan (MEXT).
- 2) The UNESCO-DESD-Japan logo is the official logo of the World Conference on ESD and is shown on all official communication material in the top left corner of the page. The official conference logo, which is available in all six UNESCO languages, looks like this:



- 3) Material published about the conference by other organizations must avoid being perceived as official UNESCO communication material for the conference.
- 4) The host cities of the World Conference (Aichi-Nagoya, 10-12 November 2014) and its Stakeholder Meetings (Okayama, 4-8 November 2014) may use the official conference logo for their communication purposes together with their own logos. It must be evident that material issued by host cities is not official UNESCO communication material. To achieve this, host cities are asked to always add the text "Host City for" above or next to the conference logo. Each individual request for the use of the logo by a local/national partner must be supported by the Japanese National Commission or MEXT and approved by UNESCO.
- 5) For local/national partners of the Government of Japan or of the host cities that wish to associate themselves with the World Conference and use the official logo, the following guidelines apply :
 - a. The local/national partner has a clearly defined role for the World Conference. Activities carried out by the partner must be in line with the conference objectives.
 - b. It must be evident that material issued by the local/national partner does not resemble official UNESCO communication material.
 - c. Each individual request for the use of the logo by a local/national partner must be supported by the Japanese National Commission or MEXT and approved by UNESCO. The logo authorized for use will be the official logo together with the text "In support of".
- 6) The National Commission documents the cases where request is made and permission is granted.

- 7) It is recalled that according to UNESCO's Guidelines on the Use of UNESCO's Name and Logo any commercial use of UNESCO's logo would require the express authorization by the Director-General of UNESCO.

Request Form for the Use of the logo of the UNESCO World Conference on ESD

「持続可能な開発のための教育（ESD）に関するユネスコ世界会議」のロゴ使用許可申請書

Name of the proposed activity/materials 事業又は広報資料名	
Start and end Date of the proposed activity 事業の開始及び終了期日	
Venue of the proposed activity 開催地	
Name and address of your organization 団体名・所在地	
Legal identity of your organization 団体種別（例：地方公共団体）	
Your name and contact address 担当者氏名・連絡先（電話、ファックス、電子メール）	
Please provide a full description on the proposed activity. 事業の詳細	
Please indicate on what publicity and promotional materials the requested UNESCO logo will be used. (for example: invitation letters, printed programmes, banners, websites, etc.) ロゴの掲載を希望する広告・宣伝用資料（例：招待状、プログラム、バナー、ウェブサイト）	
Please explain your proposed activity/material's(s)' relevance to the UNESCO World Conference on ESD. 事業又は資料と世界会議の関連性	
Signed by: 自署（役職・氏名）	Dated: 日付

Please now send this completed form to the Japanese National Commission for UNESCO.

当フォームにご記入いただき、日本ユネスコ国内委員会へご送付下さい。

日本ユネスコ国内委員会事務局
〒100-8959 東京都千代田区霞が関 3-2-2 文部科学省内
電話（TEL）：03-5253-4111 FAX：03-6734-3679 E-mail：jpnatcom@mext.go.jp

Comments from the National Commission 日本ユネスコ国内委員会使用欄

**「持続可能な開発のための教育（ESD）に関するユネスコ世界会議」
ロゴの申請手続きについて**

1. 申請者は、日本ユネスコ国内委員会会長宛に、別紙申請書に加えて、①簡潔な事業概要を明記したもの（日本語）及び②Request Form（英文）を電子メール等で日本ユネスコ国内委員会のメールアドレスあてに提出してください。
なお、自署欄は、責任者の職名・氏名の自署で結構です。
2. 日本ユネスコ国内委員会から、②Request Form（英文）に日本ユネスコ国内委員会のコメントを付し、ユネスコ宛に電子メールで提出します。
3. ユネスコから日本ユネスコ国内委員会宛に承認等の連絡があった後、日本ユネスコ国内委員会から申請者に、その旨、電子メールで知らせます。

(注)

- ・ガイドライン4)の“Host City for”は、「の開催都市」というように全体の文脈に合わせて日本語表記することも可能です。

「ESDに関するユネスコ世界会議」ウェブサイトについて

UNESCO | Education | Natural Sciences | Social and Human Sciences | Culture | Communication and Information | Media Services




2014 ESD World Conference

UNESCO A+  

About the Conference

- Background
- Organizers
- Objectives
- Programme & Documents
- Partners
- Stakeholder Meetings

ESD post 2014

- Global Action Programme
- DESD Final Report

Practical Information

- Venue
- How to participate?

Education for Sustainable development is about making education more relevant in order to respond to present and future challenges. But how can learners acquire the skills, knowledge and values they need to tackle complex issues such as climate change, globalization and poverty reduction? What sustainable development issues should be taught and learnt? [More about the Conference](#)



LATEST

- 24.05.13
120mn for Biodiversity: Participate in Webinar
- 30.03.13
Japanese students discuss sustainability with UNESCO Deputy Director-General
- 30.03.13
UNESCO Associated Schools launch their first online collaborative platform

[All news](#) 

HIGHLIGHTS

-  [Tell your story!](#)
-  [5 reasons to support ESD](#)
-  [See the Aichi-Nagoya ESD Conference video](#)

RELATED INFORMATION

ESD in Action



ESD RESOURCES

- ▶ What is ESD?
- ▶ Key publications
- ▶ Videos
- ▶ Photo gallery
- ▶ Visit our ESD website!

LINKS

- ▶ Education for All
- ▶ Global Education First Initiative
- ▶ Millennium Development Goals
- ▶ World We Want 2015
- ▶ UN Sustainable Development Knowledge Platform

CONTACTS

- ▶ Contact us
- ▶ Media contacts